

平成23年4月28日

保護者 様

常陸太田市立世矢小学校長 萩庭 宏信

放射線に対する学校の対応について

日頃から本校の教育活動にご協力くださりまして、誠にありがとうございます。

福島第一原子力発電所の事故に際しましては、保護者の皆様にもご心配おかけしています。放射線等について正しく理解するために、参考資料から抜粋したものを下記に載せておきますのでぜひお読みください。

なお、茨城県環境放射線監視センターが本校の西側（ビオトープの近く）に設置している真弓測定局の放射線テレメータ監視データものをせておきます。（インターネットから<http://www.houshasen-pref-ibaraki.jp/present/result01.html>を開くと放射線テレメータの現在の測定結果を確認することができます。）

記

1 文部科学省の放射等について正しく理解するための参考資料より

○ 原発と放射線の今の状況

福島第一原発から大気中に出る放射性物質の量は、3月17日以降ずっと減っています。大気中の放射線量は、各地で「横ばい」か「減少中」です。一方、3月15日以降、地面や建物に降り積もった放射性物質には一定の注意が必要です。

○ 私たちの学校、私たちの住んでいる地域は大丈夫

放射線によって健康への影響が出るおそれのある区域には、すでに避難指示等が出ていますので、逆に指示が出ていない地域は過度に心配しないでください。

※国際放射線防護委員会の声明をもとに、今回 3.8 マイクロシーベルト/時を超えない学校は、校舎・校庭などを平常通り利用しても差し支えないと判断しました。

○ 何に気をつければいいの？

- ・土や砂を口にいけない。
- ・飲料水以外の川や水たまりの水を口にしない。
- ・外で遊んだら手や顔についた土や砂を洗い落とす。
- ・服についたほこりを払い落としてから教室や家に入る。
- ・洗髪は通常通り行っていれば安心。
- ・雨が降ったら傘をさした方が安心

○ 子どものこころのケア

災害時の子どものこころのケアとしては、普通の生活を送るよう心がけることが大切です。保護者のふさぎ込んだ気分や不安は、子どものこころの不安定さにつながります。保護者が正確な知識を持ち（流通している食品は安全であること、放射線は感染しないことなど）、必要以上に心配しすぎないことが重要です。いじめや心的外傷ストレス障害（PTSD）などは、病院などの専門窓口などにご相談ください。

2 茨城県環境放射線監視センター真弓測定局の放射線テレメータ監視データ

期日	時刻	最大値 (マイクロシーベルト)
3月11日	10:40	0.039
3月15日	4:40	3.734
3月20日	10:40	0.311
3月25日	10:30	0.239
3月30日	7:30	0.171
4月5日	1:00	0.123
4月10日	4:40	0.109
4月15日	2:00	0.097
4月20日	12:00	0.086
4月25日	14:10	0.091

※ 単位は1時間あたりのマイクロシーベルト

胸部 X 線検査の放射線量 50 マイクロシーベルト

文部科学省設定：1時間あたりの限界放射線量 3.8 マイクロシーベルト

文部科学省設定：年間限界放射線量 20 ミリシーベルト